

「富士ドライケム IMMUNO AG ハンディ COVID-19 Ag」 における
SARS-CoV-2 変異株の反応性に関して

新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の変異株は、主にS蛋白(スパイク蛋白)をコードする遺伝子領域の塩基置換や欠損により系統が変化したものです。

「富士ドライケム IMMUNO AG ハンディ COVID-19 Ag」はSARS-CoV-2のN蛋白(ヌクレオカプシド蛋白)抗原を検出します。N蛋白はS蛋白に比べ比較的変異が少なく、N蛋白の抗体と反応する部位が変異して反応性に影響が出る可能性は、比較的小さいと考えられます。

富士フイルムは横浜市立大学と共同で、国立感染症研究所から提供された分離株を用いて検証を行い、「富士ドライケム IMMUNO AG ハンディ COVID-19 Ag」が以下に示すSARS-CoV-2 変異株を検出できることを確認しました。

WHOの呼称	Pango系統		最初に報告された国※1
アルファ株	B. 1. 1. 7		英国
ベータ株	B. 1. 351		南アフリカ
ガンマ株	P. 1		ブラジル
デルタ株	B. 1. 617. 2, AY. 1, AY. 2		インド
オミクロン株	<ul style="list-style-type: none"> ・ B. 1. 1. 529 BA. 1. 18 ・ B. 1. 1. 529 BA. 2 ・ B. 1. 1. 529 BA. 2. 75 ・ B. 1. 1. 529 BA. 4 	<ul style="list-style-type: none"> ・ B. 1. 1. 529 BA. 5 (TY41-702 and TY41-704) ・ B. 1. 1. 529 XE 	複数国
シータ株	P. 3		フィリピン
ラムダ株	C. 37		ペルー
ミュー株	B. 1. 621		コロンビア

※1 <https://www.who.int/en/activities/tracking-SARS-CoV-2-variants/>

今後も SARS-CoV-2 変異株に関する情報をご提供いたします。

【お問い合わせ先】

富士フイルムメディカル株式会社

営業本部 IVD 事業部 学術グループ

東日本地区：03-6419-8035

西日本地区：06-7688-6967